

Rotary



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：永井伸治／副会長：小島洋一
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：金森貴史／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



世界に希望を生み出そう

2023-24 RI会長
 ゴードン R. マッキナリー

～稲沢RC2023-24年度会長方針～
 創立60周年を祝おう ROTARYで
 つながろう 未来へつなげよう

本日の例会プログラム 第2833回例会 9月6日（水）

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰
 第3回理事会

IAC 例会（17：00）



第2832回例会報告 8月29日（火）晴れ No. 08

☆点 鐘 ☆	名古屋清須 RC 会長 前田昌樹
☆司 会 ☆	名古屋清須 RC
☆唱 和 ☆	君が代 奉仕の理想
☆ビジター ☆	8/30 余郷達也君（津島）
☆会長挨拶 ☆	名古屋清須 RC 会長 前田昌樹



皆さんこんにちは、酒井がバナー、杉浦地区幹事、地区スタッフ鈴木さんようこそおいで下さいました。先程の懇談会では、ガバナーから指導頂いたことをクラブの皆で共有して、充実したクラブ活動をしていけたらとおもっております。またこうして、稲沢ロータリークラブさん、尾張中央ロータリークラブさんと合

同で例会を行えることを大変うれしくおもいます。先日は稲沢さんの60周年記念パーティーにお邪魔させていただき、そのすばらしい、おもてなしと設営に加え、永井会長、金森幹事の巧みな話術に感服しました。また来週には、尾張中央さんの40周年記念コンパにお誘い頂いております。三度の飯と女性の次にゴルフが好きな精鋭8名、気合いをいれて臨みますので宜しく願いいたします。

さて我が名古屋清須とは申しますと2年後に50周年を迎えます。その目玉として、グローバル補助金を活用してのイスラエル平和構築プログラム成果発表をしようということが理事会で承認されました。本日はこちらを少し紹介させて頂けたらとおもいます。現在プログラム申請中で

承認待ちの状態ではありますが、既にコト前と今年4月、各6名ほどで2度にわたりイスラエルへおもむき、受け入れ先であるイスラエルエイブラムロータリークラブの方々の案内の元、打ち合わせを行ってまいりました。プログラムはイスラエル側が望む第1部と我々が取り組みたい第2部という2部構成となっており、第1部では、エイブラムに近いアラバ研究所で行われている平和指導者育成センターに対しロータリー独自の体験研修プログラムを提供し、中東の紛争調停のために効果的な指導者育成を狙うものです。

実際我々も2度アラバ研究所を訪れウギャ、パレスチナ、エジプト、など人種を越えて共に学んでいるエイブラム学生達と話をし、第2部はイスラエル国内に広島・長崎の原爆資料館のミタイプを設置し、イスラエルの人々に、原爆の悲惨さを直視して頂き、核戦争は決して行ってはならないということあらためて知ってもらおうとするものです。既に広島、長崎両市には協力の同意をいただいております。設置場所としては、エルサレムとテルアビブの間にあるアキバ・カレッジが内定しています。アキバ・カレッジはウギャ人のみならず、広くアラブやパレスチナ、そしてアラビアのレスと共に闘った砂漠の民で有名なベドウィンの若者達が学生であり、女子を主として4000人程がそこで学んでいます。学内は広々として、正門に近い教室棟の一角に600万のウギャ人が虐殺されたホロコーストのミュージアムが設置されています。そこへは学生のみならず地域の人々や訪問者が自由に入りし学ぶことができるそうです。その隣の教室一部屋全てを原爆資料館に提供していただけるとのことでした。この二つを統合して Destruction of Humankind としたらどうかとの提案もいただきました。

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 加藤太平

会員総数	56名	前々回修正	8月9日
出席	29名	出席	36名
会員数	(内免除 5名)	会員数	(内免除者 6名)
欠席者数	27名	メイクアップ数	6名
	(内免除者 7名)		
出席率	59.18%	修正出席率	84.00%

☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メイクアップ会場
津島	9/8(金)11:30～	ツシマウール会館

今週のメイクアップ 足立三千夫 (IAC) 山内健嗣・吉川末佐子・奥智子・伊藤賢治 (B.D) 入山太郎 (C.O.M)

☆例会日程☆

9月13日(水)12:30	9月20日(水)	9月27日(水)12:30	10月4日(水)12:30
イニシエーションスピーチ 第6回創立60周年実行委員会 全体会議 (例会後)	休会 (定款7-1) IAC 例会 (17:00)	IAC 海外研修報告	幸福例会 会員表彰 第4回理事会

ところで本年度、国際ローターのテーマは「世界に希望を生み出そう!!」です。ダイバーシティ・イノベーション

我々のこの事業はまさに世界に希望を生み出すにふさわしい事業だと自負しております。そして事業を通して、プラウドを培い、ロータープラウドを育み、そして未来への希望を生み出して行けるものと信じております。

また本年度、自分の会長テーマを「和と中庸」としました。この事業も和を以てクラブの皆で大いに議論して、皆で良い塩梅の着地点をクラブの皆で見つけて、クラブの皆で成功に導けたらと思っております。この事業の成果にご期待下さい。以上、少々手前味噌の卓話となったことご容赦頂きまして会長挨拶といたします。ありがとうございました。

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆ 幹事：金森貴史

◆ポリオプラスソサエティに入会された会員へ登録証とバッジが届きましたのでお渡しします。

- ・永井伸治会員 (ピンバッジは地区よりお渡し済み)
- ・成田幸太郎会員

週報の6号にポリオプラスソサエティの詳細を掲載しております。申し込みや支払い方法など事務局へご相談ください。

◆創立60周年記念式典祝賀会の登録料(全員登録)と尾張中央RC創立40周年記念チャリティゴルフ出席者の登録料を9月11日に預託金から引き落としします。

式典登録料には同伴者の登録料と2次会出席者はその費用も含まれます。

振込でのご精算の方は、本日請求書を配布しました。

◆尾張中央RC創立40周年記念式典講演会のご案内が届きました。(詳細別紙)ご希望の方は枚数を先方へ

◆9月のロータリーレート \$ 1 = 146円

◆◆会員組織委員会報告◆◆

報告者：会員組織委員長 加藤太平

○9月100%出席表彰者(7月末調べ)

高桑宏幸	7年6ヶ月	林茂一	6年
吉川貴祥	7年6ヶ月	宮崎忠広	5年
加藤健司	6年6ヶ月		

◆◆親睦活動委員会報告◆◆

報告者：親睦活動委員長 新井仁志

○9月の誕生日祝福

山内健嗣	1日	林茂夫	20日
近藤治夫	3日	後藤啓行	24日
橋本嗣治	17日		

○9月会員配偶者誕生日

鵜飼博信	夫人	律	様	1日
真野寿樹	夫人	貴子	様	5日
西村郁夫	夫人	明美	様	13日
浅井耕治	夫人	朱実	様	15日
伊藤賢治	夫人	綾子	様	27日

◆◆ニコボックス報告◆◆

報告者：ニコボックス委員長 水野厚司

前月ニコボックス(くじ・花含む) 251,000円

2023-24年度 累計 420,000円

◆創立60周年実行委員会第6回全体会議のご案内◆

運営幹事：樋田文裕

以下の通り全体会議を行いますので、実行委員会メンバーはご出席頂きますようお願いいたします。

開催：9月13日(水)例会終了後

場所：尾張大國霊神社

内容：

- 1) 中間決算について
- 2) 記念事業について
- 3) 記念誌について

◆創立60周年式典 集合写真配布◆

運営幹事：樋田文裕

本日、式典で撮影した集合写真を全員に配布しました。

◆◆ガバナー公式訪問◆◆

国際ロータリー第2760地区

スピーカー：2023年～2024年度 ガバナー 酒井法丈

RI会長 ゴードンR.マッキナリー氏 メッセージ

深刻な課題に直面している中でも、ローターは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。

だからこそ、私はローターの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。

そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。ローターの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。

平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるローター会員を奮いたたせてくれることでしょ。

素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がローターに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

酒井私見「言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができ、入会候補者もローターに関心をもってくれる。」

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ローターには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

RIの重点事項

- ① ポリオプラスプログラム
- ② メンタルヘルス
- ③ 女兒のエンパワメント

ビジョン声明からDEIについて

自身の中での「ロータリー像」について問いかけます。

- ① なぜロータークラブに入会しましたか？
- ② ロータークラブの会員とはどのような人達ですか？
- ③ ロータークラブはどのようなことをしているのですか？

- ④ なぜロータークラブ会員であり続けているのですか？
 ⑤ あなたのクラブを代表する活動は何ですか？
 以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

ビジョン声明

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」

ビジョン達成のための行動計画

- I より大きなインパクトをもたらす
- II 参加者の基盤を広げる
- III 参加者の積極的なかわりを促す
- IV 対応力を高める

この I から IV までの行動計画は皆さんに問いかけた「ローター像」の中にヒントがあります。

I は⑤に、II は①②に、III は③に、IV は④につながります。I のインパクトをもたらすために、新たな方法を探みましょう。

II の基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。

III の積極的なかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。

IV の対応力を高めるには、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEI (多様性、公平さ、インクルージョン)

多様性は、ローター創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要
 公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となる

インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる

プライド、ブランドとは

親睦と奉仕は、ローターの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる、これがローターの魅力ではないでしょうか。

よって、プライドは我々ローター会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

お願い

- 1、ローター財団への寄付
- 2、地区大会への参加
- 3、RFF (ローター・フット・フェスティバル) への積極的な参加 (チケット・企業協賛)
- 4、世界大会でのガバナナイトへの参加



RI第2760地区 酒井法丈ガバナー公式訪問 2023.8.29 Rotary

◇◇地区補助金事業 バレーボール指導会◇◇

報告者：青少年奉仕委員長 宮崎忠広

日時：2023年8月31日木曜日

場所：豊田合成記念体育館エントリオ

当クラブの本年度ロータリー財団地区補助金事業「ウルフドックスによる市内中学生バレーボール部員への指導、並びに試合観戦」の中の「指導会」を、8月31日木曜日に行いました。

午前に男子、午後は女子で、選手やコーチから細かくアドバイスいただき練習をしました。

今後の予定は、9月16日(土)17日(日)に「稲沢ロータリークラブ杯新人戦」が市内中学校を会場に開催され、男女優勝チームはウルフドックス公式戦の観戦がプレゼントされます。

指導会で教えてもらったことを実践して優勝目指して頑張ってもらいたいと思います。





ウルフドッグス名古屋の選手もからプレーを教わる中学生ら
＝稲沢市の豊田合成記念体育館で



中学生にバレー直伝

稲沢でウルフドッグス選手

稲沢ロータリークラブ（RC）は8月31日、Vリーグ所属の地元チーム「ウルフドッグス名古屋」と協力し、稲沢市の豊田合成記念体育館（エントリオ）で、市内中学校のバレーボール部員らとの交流会を開いた。チームが今年Vリーグで優勝したことを踏まえ「子どもたちに日本のプレーを教えてほしい」と依頼して実現した。中学生の男女

約130人が参加し、選手やコーチの指導を受けた。稲沢RCは今月も、市内中学校のバレーボール部の新人戦を初めて企画。優勝校に、チームのホーム観戦チケットを贈る予定だ。永井伸治会長（59）は「市内のバレーボール人気を高め、皆で応援したい」と話し、地元からのプロ選手誕生にも期待を込めた。

（寺田結）

